

## 実習受入にあたり、事業の目的・実習概要

### 1. 事業の目的

福祉即戦力人材養成科の訓練メニューの実習（計 112 時間）について、座学(介護職員初任者研修 131 時間)で学んだ知識やスキルを実際の現場(施設)で確認しながら、将来の福祉職について心構えをしたり、福祉職の大変さや素晴らしさを実感し、即戦力となる人材を養成する。

### 2. 訓練生の把握

#### ①訓練生の概要

#### ②当日までの学習内容

《訓練概要》

令和 8 年 7 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日 計：317 時間（平日：6 時間程度）

主な会場：野田川わーくぱる（与謝野町）

《訓練の流れ》



- ・介護職員初任者研修過程（131 時間）
- ・府独自研修（施設実習 112 時間・ビジネスマナー就職支援スキル等、その他 74 時間）

#### ③実習（訓練生）の目的

- ・これまでの学習内容（初任者研修）を踏まえての現場での実践・現状把握
- 介護職員初任者研修等で学習した内容を現場を通じて学びを深め実践し、就職につなげる。

### 3. 実習内容について

#### ①実習（事業所）の目的

- ・実習受入による指導や指導者の育成
- 訓練生への指導を通じて、事業所内の体制整備や指導者の育成などをはかる
- 現場実習を通じて、事業所の魅力発信や訓練生の育成を行う

## ②訓練生への指導の視点

- ・利用者との交流やその背景等伝えることで、利用者の特性や、職員と利用者との関わりや関係性を理解できるよう指導する
- ・訓練生用に作成したプログラムや目標を踏まえ、介護・福祉での現場の実態や取組みをこれまで学んだ内容と結び付け、自立に向けた利用者支援の考え方やプロセスを理解できるよう指導する
- ・職務遂行のための基本的能力が身につくよう実践も交え指導する。

## ③実習概要

期間：(1クール) 令和8年8月20日・21日・24日・25日・26日・27日・28日・31日(合計8日間)

：(2クール) 令和8年9月4日・8日・9日・10日・11日・15日・16日・17日(合計8日間)

※前半、後半と2法人に実習体験

→実習先決定は、訓練生に希望(受入法人より)をとり、通所範囲内で調整の後決定

## ④訓練生への事前演習事項について

実習目標の枠組み・概略、事前演習での指導内容について

## ⑤プログラム展開例

- (1)生活環境及び日常生活の状況把握と環境整備
- (2)利用者とのコミュニケーションと生活上のニーズの把握
- (3)日常生活場面における介護技術の実際(指導者の指示に従う)

- ・食事介助(配膳・食事介助・下膳)
- ・排泄介助(おむつ交換・ポータブルトイレ・便器及び尿器介助・一般トイレ)
- ・身体の清潔(一般浴・機械浴・衣類の着脱等)
- ・身だしなみの介助(口腔ケア・整髪等)
- ・体位変換(安楽な体位の工夫等)
- ・移動介助(ベッドから車いす・ストレッチャーへ等)
- ・環境(シーツ交換・身辺整理・清掃等)

<8日間コース(プログラムに反映するメニュー例)>

初日	<u>・オリエンテーション、施設見学、職員・利用者紹介</u> <u>・利用者とのコミュニケーション、グループ活動・行事・レクリエーション等に参加</u> <u>・実習簿の作成・振り返り</u>
2日目 ～8日目	<u>・一日の流れの理解、申し送り参加、目標の確認</u> <u>・利用者とのコミュニケーション、グループ活動・行事・レクリエーション等に参加</u> <u>・各種医療器具・福祉用具の説明を受け使用場面を見学</u> <u>・振り返り・実習簿の作成</u>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事・排泄・入浴関連の補助業務、職員指導下で体験</li> <li>・軽度者の介護を職員指導下で体験</li> <li>・PT、OT、ST等による機能訓練の見学</li> <li>・移動・移乗介助・体位変換の補助業務、</li> <li>・環境整備（シーツ交換）更衣介助の補助業務、職員指導下で体験</li> <li>・口腔ケアの補助業務</li> <li>・<u>実習振り返り（カンファレンスの運営）</u></li> </ul>
--	--

#### <障害者支援>（例）

- ・施設の役割理解のためオリエンテーション
- ・障害の特性や利用者の個性、生活背景を理解するための説明
- ・日常生活支援（食事介助・排泄介助・入浴介助・移動・移乗介助）の補助業務、職員指導下で体験
- ・日中活動への参加（軽作業・創作活動）、レクリエーション等、社会参加活動などに参加し、利用者とのコミュニケーション
- ・特定の利用者を受け持ち、生活歴や思いを聞き、個別支援計画に基づいた関わりを体験

#### <その他>

##### 専門性を深めるための実習項目（例）

- ・ケース(ケア)カンファレンス見学、記録・ケアプランの閲覧、各職種からの聞き取り・意見交換
- ・重度者への介護補助業務を職員監督下で体験
- ・認知症利用者への介護補助業務
- ・一人の利用者について観察に基づき特性をまとめ、模擬的にケアプランを作成

## 4. 実習までの準備事項

- ①6月30日(火)実習受入事業募集 締切
- ②7月16日(木)訓練生実習希望(第3希望まで)表 提出期日
- ③7月21日(火)実習先決定
- ④7月23日(木)実習指導者連絡会 9:30~11:30 オンラインにて開催
- ⑤7月29日(水)自己紹介カード提出期日(訓練生)→受入事業所に送付
- ⑥8月7日(金)プログラム表提出期日(実習受入事業所)

8月20日～実習

\*実習指導者連絡会については、昨年度から実施した評価表をもとに意見交換を予定しております。受入決定事業所に後日、連絡します。